

フィンランド語：重箱の隅③ 目的語の謎（3）動詞の相と否定

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



参考資料

**Hakulinen, Auli, Maria Vilkuna, Riitta Korhonen, Vesa Koivisto,
Tarja Riitta Heinonen ja Irja Alho. 2005. *Iso suomen kielioppi*.
Suomalaisen kirjallisuuden seura. 881-899.
(*Ison suomen kieliopin verkkoversio*.
[<https://scripta.kotus.fi/visk/etusivu.php>])**



目的語の全体像

Totaaliobjekti (全体目的語)	Partitiiviobjekti (部分目的語)
<p>① genetiivi (属格) [単数のみ] Ostan pyörän.</p> <p>② nominatiivi (主格) [単数/複数] Osta pyörä! Ostan pyörät.</p> <p>③ akkusatiivi (対格) [7語のみ] Vien sinut kotiin.</p>	<p>partitiivi (分格) [単数/複数] Ostan maitoa. Ostan pyöriä.</p> 

動詞の性質

- ①瞬間的な行為やできごとを表す動詞
「生まれる」「引っ越す」「みつける」
- ②持続的な行為や状態を表す動詞
「暮らす」「住む」「さがす」
- 「森で少年をみつけた／さがした」
＋「3時に」「3時間」
- ①は「完了」を含意（結果を生む）
②は「未完了」を含意（結果を生まない）

完了を意味する動詞は全体目的語

本質的に「完了」することを含意する動詞

avata 「開ける」、lopettaa 「終える」

löytää 「見つける」、voittaa 「勝つ」

完了を含意する動詞の目的語は全体目的語

Avasin **oven** hitaasti. ゆっくりとドアを開けた

Suomi voitti **Ruotsin** jatkoajalla.

フィンランドは延長でスウェーデンに勝った。

完了を意味しない動詞は部分目的語

本質的に「完了」することを含意しない動詞

rakastaa 「愛する」、pelätä 「怖れる」

odottaa 「待つ」、etsiä 「さがす」

完了を含意しない動詞の目的語は部分目的語

Rakastan **häntä**. 彼女を愛している。

Tyttö odotti **junaa**. 少女は列車を待っていた。



完了に関して中立的な動詞

「完了」を意味することもあるし、「未完了」を意味することもある動詞

lukea 「読む／読んでいる」

kirjoittaa 「書く／書いている」

「完了」と「未完了」の違いを目的語が表す。

Kirjoitan **kirjeen**. 手紙を書く。

Kirjoitan **kirjettä**. 手紙を書いている。



動詞の相 (アスペクト) 「完了」と「未完了」

完了

未完了

kirjoitan
(kirjeen)

kirjoitan
(kirjettä)



分けられない名詞と完了／未完了 (1)

完了しないのなら部分目的語

Katson tässä neloskanavan elokuvaa.

私はここで4チャンネルの映画を見ている。

Kirjoitin kirjettä, kun sinä soitit.

君が電話してきたとき、私は手紙を書いていた。

Ammuin jänistä eikä se kuollut.

ウサギを撃ったが、それは死ななかった。



分けられない名詞と完了／未完了 (1)

完了するのであれば全体目的語

Katsoin eilen neloskanavan **elokuvan**.

私は昨日4チャンネルの映画を見た。

Kirjoitin **kirjeen** ja vein **sen** postiin.

私は手紙を書き、郵便局へもっていった。

Ammuin **jäniksen** ja söin sen.

ウサギを撃ち、そしてそれを食べた。



分けられる名詞と完了／未完了

分けられる名詞はふつう「不定」で部分目的語になるので、「完了／未完了」の違いは中和

Söin **keittoa**, kun puhelin soi. [未完了]

電話が鳴ったとき、私はスープを食べていた。

Söin lounaaksi vain **keittoa**. [完了]

私は昼食にスープだけ食べた。



否定であれば部分目的語

否定文、あるいは否定を含意する文
名詞全体＝「定」に影響せず、行為も完了しない

En osta kirjaa. (⇔ Ostan kirjan.)

私は（その）本を買わない。

Etkö osta kirjaa?

あなたは（その）本を買わないのか。

Tuskin ostan kirjaa.

私はまず（その）本を買わない。



全体目的語になる条件

目的語全体＝「**定**」に対して行為が**完了** ⇒ 全体目的語

Ostan **maitoa**. 牛乳を買う。 [不定]

Ostan **kirjaa**. 本を買おうとしている。 [未完了]

En osta **kirjaa**. 本を買わない。 [否定]

Ostan **kirjan**. 私は（その）本を買う。 [定・完了・肯定]

Etkö osta **kirjan**?

あなたは（その）本を買わないの [買うよね]🔊

名詞の定性と動詞の相

	名詞	動詞
	määräisyys (定性)	aspekti (相・アスペクト)
rajattu (限定)	määräinen (定)	perfektiivinen (完了)
rajaamaton (非限定)	epämääräinen (不定)	imperfektiivinen (未完了)

これらが目的語の形（格）により表現される 

名詞の定性と動詞の相（イメージ）

定性

相

kirja

定

≡

完了

kirjoitan
(kirjeen)

vettä

不定

≡

未完了

kirjoitan
(kirjettä)



次回の予告

- 目的語の謎 (4) 目的語と格
 - 部分目的語と格
 - 全体目的語と格
 - 目的語としての数詞

